都於郡地域づくり協議会
協議会だより
2021年度
第2号
発行日　2021/12/27

◆　人　口　3，069人（男1，454人、女　1，615人）
◆　世帯数　1，502世帯（令和3年12月1日　現在）

地域の安全のために
消防団の取り組み

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

西都市内では、条例定数750人中、実員数約700人程を7分団に分け構成されています。今回取材させていただいた都於郡町の消防団は、第6分団の第1部にあたります。11月7日に行われたかまど検査は、各家庭に訪問し、防火指導をしたり、防火設備が整っているかなどを点検したりといった啓蒙活動です。高齢者のお宅へ様子を見に行き、変わった様子がないかを確認したり、実際の災害時に援護が必要な方を把握したりと、その役割は非常に重要とされています。

地域によりますが、団員の年齢構成は、かつて比較的若年層が中心でしたが、近年、30歳未満の団員の割合が減少する一方、40代や50代以上の割合が増加するなど、高齢化が進行しています。

旅するマンショ販売
教育文化部会

12月4日（土）に都於郡城址まつり展示会にて、伊東家や伊東マンショのグッズなどが販売された際、新商品として「旅するマンショ交通安全守り」が販売されました。

今回のキャラクターは、伊東マンショの漫画を可愛らしくデフォルメ（変形）したもの。イラスト制作は、漫画家「里見紀（はじめ）さん」にお願いしました。

このキーホルダーは、伊東マンショたちの辛い往復4年半にも渡る船旅から、無事に帰還した事にあやかり企画されたものの。

当協議会の原田会長は、10月28日、光照寺で行われたお守り祈願祭で「当地域は近年、大型車両の通行が増大し交通事故の危険度が表面化している。このタイミングでの「交通安全お守り」の制作になったが、この交通安全キーホルダーが地域の子供達や一般住民の安全に一役買うことになれば有り難い。」と述べられた。

なお、この「交通安全お守り」の販売は、都於郡地域づくり協議会事務局で現在販売中で、通販ショップなども検討されています。

輝く人新春スペシャル
守永俊一さん農業功労賞受賞

西都市の農業の発展に尽力したとして、西都農協の元職員　守永俊一さん（筑後）に西都市から農業功労賞、JA西都からは感謝状が贈られたのは2021年7月29日のこと。

都於郡地域づくり協議会では、そんな守永さんにインタビューをさせていただきました。

「私はね、農業は『脳業』だと思うんですよ。農業はね、学ぶほどに奥が深く面白い。どうやっていいものを作るか、周りのニーズにどこまで目が向けられるかが大事だと思ってるんです。」

そう、農業について語る守永さんは、「ピーマン博士」とも呼ばれ、子供用の教材本から様々な書籍に大きく取り上げられるほどの人物である。

そんな守永さんは、妻高校を卒業後、儲かる農業の可能性を感じ仕事とした。

しかし、それまで農業に携わってこなかった守永さん。始めてみたはいいものの、なかなか思うようにいかない。そんな守永さんに転機が訪れた。

【写真】表彰式は西都市役所にて行われました。（右から）橋田市長、守永俊一さん、壹岐組合長

昭和38年当時ピーマンは、高知県が生産量日本一。西都市では乗用車に乗るのは医者くらいなものなのに、高知ではそんな乗用車が数多く見られた。それくらい「ピーマン農家は儲かっていた」のだ。そんなピーマンの技術を高知で学び、宮崎に戻った守永さんは、昭和44年には、西都農協職員としてピーマンなどの施設園芸の作物の導入や新規就農者の育成などに力を入れていった。

農協を退職後も、その実績をかわれ高鍋町にある「県立農業大学校」で行われていた農業実践塾の講師や「JA西都」の新規就農者研修の講師などを務めた。

しかし、お話の中で一番驚いたのは、西都の「中型カラーピーマン」の生みの親は、守永さんだということ。

海外研修にいった際、スーパーに並ぶカラフルな野菜を見て「これからの時代はカラーだ！」と強く思ったことがきっかけで、平成12年にはカラーピーマンの栽培開始。

もちろん、思ったからといって簡単に始められないのが現実。栽培方法や種子などの仕入れなど、立ちはだかる壁はたくさんあった。

たくさんの人脈と縁、そして人々の努力と研究の成果もあって、生産量なども高知を上回るものとなり、今やピーマンやカラーピーマンは西都の顔ともいえる代表的な野菜となっている。

「今回インタビューを通して、アイデアや先見の目を養う力は、様々な経験や、学びからくるのだと教えられました。守永さんありがとうございました。」

過去に掲載された書籍の一部

自宅にて取材に応じる守永さん

コロナに負けるな！
飲食店応援企画
第1弾

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々なお店が休業を余儀なくされました。都於郡地域づくり協議会では、そんな飲食店の皆様を応援しようと、地域のお店の宣伝コーナーなどを設けることになりました！

カラオケ喫茶ともちゃん
宮崎県西都市鹿野田８６２９
0983-35-4932
営業時間
昼　13：00～17：00
夜　19：00～23：00
定休日　火曜日　水・日は午後休み
歌い放題　￥1,000
（お茶・お菓子付き）

鮎味亭 天空地水
西都市大字都於郡町 5681 番地
090-9571-7779
営業時間
昼　11：00～14：00
夜　18：00～22：30
完全予約制　５日前まで２名以上
持ち帰りあり

ぎおん食堂
宮崎県西都市山田１０８８－１
0983-44-5040
営業時間
昼　10：30～14：00
夜　17：00～20：00
定休日　不定休
持ち帰り可　宴会等は要予約

ネットでも都於郡地域づくり協議会の情報を見ることができます！

公式ホームページは「都於郡地域づくり協議会」で検索
https://www.tonokurimansyo.com/

Facebook
@tonokoori

Twitter
@tonokuri

◆　地域の行事や話題などの情報、皆さんからのご意見、ご要望をお待ちしています。

【発行・編集】都於郡地域づくり協議会　企画委員会　西都市大字鹿野田５０６８－１都於郡地区館内　TEL(４４－６３７２)

都於郡城址まつり実行委員会
都於郡城址まつり 今年も中止

賛否両論が錯綜する中で、57年ぶりの日本開催となって東京オリンピックは、コロナ感染拡大防止の面では反省すべき点が多かったように思います。そのような状況下で、西都市の四大祭りの一つである「都於郡城址まつり」については、8月に開催された実行委員会代表者会議（原田美弘会長。吉弘修也祭務長等）において、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先することとして、残念ながら昨年に続いて中止することにとなりました。

また、実行委員会代表者会議では、各公民館からの協力金（一戸500円）についても、使途を中心に慎重に議論が行われ、今年度は、各公民館名を印字した「のぼり旗（損傷している100本）」と「マンショ顔出しパネル（大人用、子供用の2体）」の制作経費等に活性させていただくことになりました。

なお「顔出しパネル」は移動式であり、原田会長は城址まつり等のイベントはもとより、整備検討中であるガイダンスセンター（アグリ館内）や各地区の主要行事など、様々な場所で活用していくことで、「都於郡を訪れる観光客、あるいは地元の皆さんに楽しんでいただける設備にしたい。」と話しておられました。

都小っ子まつり開催

【写真】今回インタビューに応えてくれた、山田隊の子供達。

11月7日（日）に都於郡小学校にて、都小っ子まつりが開催されました。

2年に渡り、都於郡城址まつりの中止を受けて、どうにか子供達にこの伝統ある行事を体験させてやりたいという校長先生の思いのもと開催されることとなりました。

子供達の声：「山田隊は、朝6時に集合しみんなで歩いていくのですが、それが今でも印象に残っています。」「やっぱりお祭りがないのは寂しいけれど、このようなカタチでも卒業前に行うことができて嬉しかった」

保護者の声：「卒業は寂しくも嬉しいこと。1年生の時に一生懸命作った鎧。本当に大変だった。あんなにブカブカだったのに、成長を感じて嬉しく思う」

都於郡城址まつり展示会開催

都於郡地域づくり協議会では、「都於郡城址まつり」という素晴らしい文化を絶えさせず未来へとつなぐために、西都市の中心街である妻町にある、ショッピングセンターパオのセンターコートにて、11月29日（月）～12月5日までの7日間、啓発活動の一環として、展示会を開催しました。

今回の展示会では、写真展、段ボール鎧の展示、都於郡の歴史パネル展示、小原流生け花教室展示会、伊東マンショ劇 動画上映、顔だしパネルお披露目、伊東家紙芝居劇やぬりえコーナー、グッズ販売など、様々なコーナーが設けられ、とても華やかな展示会となりました。

新聞やラジオ、SNSなどを使った宣伝の効果もあり、市内外からたくさんの方が来場されました。

来場者の方からは、「西都市に住んで70年になるが、伊東マンショという人はこんなにもドラマチックな生涯を終えた人だと知らなかった。もっと沢山の人に知ってもらうべき人物だと思いました。」「学校の図書館で伊東マンショの漫画を見ました。歴史が好きで今回の展示会を知り、市外から来ました。」と、子供から大人まで様々な声をいただきました。

当協議会会長である、原田会長は、閉会式の際、「このような素晴らしい展示会を開くことができたのは、各関係者の方々、地域の皆様の協力あってのことだと思います。この活動を一過性の物とせず継続開催できるように、今後も働きかけていく必要があると思います。」と述べられました。

高屋山上陵祭開催
都於郡城址顕彰会

11月15日（日）に都於郡城跡本丸にて、高屋山上陵祭が開催されました。県内の警報レベルが落とされ継続的な警戒態勢となり、この機会に、感染対策を行った上、役員のみでの少人数での開催となりました。

中山神社大祭の準備に しめ縄づくり

11月14日（土）に中山神社にて、毎年同月22日行われる中山神社大祭の準備のため、地域の方々が集まり、社内の草刈り清掃を行い、しめ縄作りなどが行われました。本来は、「中山棒踊」なども祭の時に踊られる予定でしたが、中止し、大祭自体は、安全を考え役員のみで行われるとのことでした。

子供達に収穫体験を 産業振興部会

11月17日（水）に、都於郡保育所の子供たちによる収穫体験が行われました。

この収穫体験は、昨年同様、コロナによる影響で城址まつりが中止になったことに伴い、販売する予定だったマンショ味噌の代わりに企画されたものです。7月に苗植えをはじめ、今回たくさんのさつま芋が実り、都於郡保育所の子供達は楽しそうに芋ほり体験をしていました。収穫体験後は、地区内の老人ホームなどの施設等に寄付されました。

防災講座を開催 健康福祉部会

12月8日（水）に都於郡地区館にて、防災士の筌瀬明美さんをお迎えして、防災講座を開催しました。今回の防災講座は、南海トラフに向けた「地震」による心構えなどをお話してくださいました。講座に参加してくださった方からは、「大変ためになった。次回は台風被害などによる防災講座なども開催してほしい」等のご意見もいただきました。